



Copyright © 2019 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. [intra-mart Accel GroupMail 2018 Summer からの変更点](#)
- 4. 機能一覧
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. 制限事項
- 8. 保証規程
- 9. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2019-08-01	初版
------------	----

はじめに

本書の内容

本書では intra-mart Accel GroupMail のリリース内容について記載されています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

- intra-mart Accel GroupMail を利用したアプリケーション開発
- intra-mart Accel GroupMail 上で動作するアプリケーションの利用

本書に記載されている外部サイトのURL

本書内で記載されている外部URLは、2019-08-01 現在のものとなります。

用語解説

- intra-mart Accel GroupMail を説明の都合上、一部 GroupMail と略している箇所があります。
- Operating System を OS と略します。
- intra-mart Accel Platform を iAP と略します。

intra-mart Accel GroupMail 2018 Summer からの変更点

追加機能概要

- intra-mart Accel Platform 2018 Winter - 2019 Summer に対応しました。

システム要件

- サーバ要件
 - Oracle Database 12c Release 1 を削除しました。
- intra-mart Accel Platform
 - intra-mart Accel Platform 「2017 Summer - 2018 Spring」 → 「2018 Spring - 2019 Summer」 に変更しました。

検証済み環境

- サーバ環境
 - Resin 4.0.58 → 4.0.62 に変更しました。
 - Payara Server 5.182 → 5.191 を追加しました。
- クライアント環境
 - Microsoft Edge 41 → 44 に変更しました。
 - Google Chrome 67 → 75 に変更しました。
 - iPhone 端末 iOS 10.2 → 12.3.1 に変更しました。
 - iPad 端末 iOS 9.3.4 → 12.1.1 に変更しました。

制限事項

- 共通
 - 認可について本リリースより宛先のチェックについて設定で動作を変更できるようになったため、返信と流用に関する宛先についての制限を削除しました。
 - HTMLで送信されたメールの参照時に先頭空行が削除される現象について制限を削除しました。

機能一覧

機能分類	PC版	スマートフォン版
一般ユーザ機能	メール表示	メール表示
	メール作成	メール作成
	メール作成プレビュー	—
	メール返信	メール返信
	メール転送	メール転送
	メール再利用	メール再利用
	メール送信取消	メール送信取消
	メール検索	メール検索
	メール受信	メール受信
	メール移動	メール移動
	メール削除	メール削除
	メール印刷	—
	フォルダ管理	—
	未読／既読切り替え	未読／既読切り替え
	個人設定	—
	振り分け条件設定	—
エクスポート	—	
ポートレット	メール未読一覧	—
管理機能	利用状況表示	—
	メールメンテナンス	—
	ユーザ環境設定	—
ジョブ	メール削除	—
	添付ファイル削除	—
	データサイズ更新	—
	添付ファイル保存位置是正	—

システム要件

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

種別	製品名
OS	Windows Server 2012
	Windows Server 2012 R2
	Windows Server 2016
	Red Hat Enterprise Linux 6
	Red Hat Enterprise Linux 7
JDK	Java Platform, Standard Edition 8 Development Kit
	OpenJDK 11 (Resinのみ)
Web Application Server	Resin 4.0.62
	Payara Server 5.191
データベース	Oracle Database 12c Release 2
	PostgreSQL 9.4
	PostgreSQL 9.5
	PostgreSQL 9.6
	PostgreSQL 10
	Microsoft SQL Server 2012
	Microsoft SQL Server 2014
	Microsoft SQL Server 2016
	Microsoft SQL Server 2017

種別	製品名
Web Server (Web Server 利用時のみ)	Internet Information Services 8 (Windows Server 2012)
	Internet Information Services 8.5 (Windows Server 2012 R2)
	Internet Information Services 10.0 (Windows Server 2016)
	Apache HTTP Server 2.2, 2.4 (DSO サポート版)



注意

intra-mart Accel Platform で使用する文字コードは、UTF-8 のみです。



注意

Microsoft製品 (SQL Server) をご検討の場合は事前に弊社までご相談ください。

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2018 Spring - intra-mart Accel Platform 2019 Summer (Standard Edition, Advanced Edition, Enterprise Edition)
- 利用する intra-mart Accel Platform のサーバ要件に準じます。

※ intra-mart Accel Platform のリリースノート参照

特定機能の利用時に必要となるサーバ要件

- IM-ContentsSearch を利用する場合
 - intra-mart Accel Platform の IM-ContentsSearch を利用する場合 のサーバ要件に準じます。

クライアント要件

種別	ハードウェア	OS	ブラウザ	クライアントタイプ
PC	PC/AT 互換機	Windows 7 SP1	Internet Explorer 11	[PC]
			Google Chrome 65以上	[PC]

種別	ハードウェア	OS	ブラウザ	クライアント タイプ
		Windows 8.1 Update	Internet Explorer 11 (デスクトップ用 Internet Explorer)	[PC]
			Google Chrome 65以上	[PC]
		Windows 10	Internet Explorer 11	[PC]
			Microsoft Edge 41以上	[PC]
			Google Chrome 65以上	[PC]
スマート フォン	iPhone端末	iOS 10.3 以上	Safari	[SP]
	iPad端末	iOS 10.3 以上	Safari	[PC・SP]
	Android端末	Android 5.0 以上	Google Chrome	[SP]



警告

各ベンダーより提供される、サーバ・クライアント製品のサポート終了に伴う、弊社製品の対応方針について

下記を参照してください。

参考：http://dev.intra-mart.jp/product_policy/（日本語）

Microsoft Windows 10 については、公式がサービスを終了するバージョンはサポート対象外です。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet>（日本語）

<https://support.microsoft.com/en-us/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet>（English）



コラム

クライアント端末は32bit、64bitどちらも動作可能です。



注意

クライアント要件に記載されているOSとブラウザ以外の組み合わせはサポートされません。

例えば次の組み合わせはサポートの対象外となります。ご注意ください。

- ・ Windows 7 + Internet Explorer 11（Windows 7のServicePack未適用）
- ・ Windows Server 2008 R2 + Internet Explorer 11（サーバOS上のブラウザ利用） など



注意

クライアントブラウザは標準モードのみがサポート対象となります。
例として、Internet Explorer の「互換モード」、「エンタープライズモード」はサポート対象外となります。



注意

Internet Explorer 11 は、更新バージョン 11.0.4(KB2925418) 以上の必要があります。



注意

Windows 8.1 上で Google Chrome を利用する場合、Windows 8 モード はサポート対象外となります。



注意

Windows 8.1 の Internet Explorer 11 (Windows UI の Internet Explorer) はサポート対象外です。
Internet Explorer 11 については、下記を参照してください。

[https://msdn.microsoft.com/library/hh771832\(v=vs.85\).aspx](https://msdn.microsoft.com/library/hh771832(v=vs.85).aspx) (日本語)

[https://msdn.microsoft.com/library/hh771832\(v=vs.85\).aspx](https://msdn.microsoft.com/library/hh771832(v=vs.85).aspx) (English)



注意

PC端末におけるブラウザ画面内の操作は、キーボード入力、マウスクリックが対象です。

マルチタッチ/ペン入力対応のディスプレイによる、タッチ入力とペン入力は利用できません。

一部コンポーネントが正常に動作しません。



注意

2019-08-01 現在、iOSをサポートするバージョンは、iOS10.3となります。



注意

Android端末は機種やブラウザの種類によって正常に動作しない場合があります。
弊社のサポート対象は、Google Chrome となります。Google Chrome 以外のブラウザでは動作保証しておりません。



注意

Androidタブレットはクライアント要件には含まれません。

特定機能の利用時に必要となるクライアント要件

IM-Noticeを利用する場合

種別	OS
PC	intra-mart Accel Platform の IM-Noticeを利用する場合 のクライアント要件に準じます。
iOS	intra-mart Accel Platform の IM-Noticeを利用する場合 のクライアント要件に準じます。
Android	intra-mart Accel Platform の IM-Noticeを利用する場合 のクライアント要件に準じます。

検証済み環境

以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせとなります。

サーバ環境

種別	製品名
OS	Windows Server 2016
	Red Hat Enterprise Linux 7
JDK	Java Platform, Standard Edition 8 Development Kit
	OpenJDK 11 (Resin のみ)
Web Application Server	Resin 4.0.61
	Payara Server 5.192
データベース	Oracle Database 12c Release 2
	PostgreSQL 10
	Microsoft SQL Server 2016
Web Server	Apache HTTP Server 2.4
	Internet Information Services 10.0 (Windows Server 2016)

コラム

弊社で検証しているデータベース環境の詳細は次の通りです。
JDBCドライバはデータベースサーバに付属のドライバを利用しています。

Oracle Database 12c Release 2

PostgreSQL 10

Microsoft SQL Server 2016

注意

Java VM については本リリースノート初版時点での検証に基づいています。2019 Summer 時点にて OpenJDK 11 で動作確認を行っています。



注意

Web Application Server(Resin) については本リリースノート初版時点での検証に基づいています。

2019 Summer 時点にて Resin 4.0.62 で動作確認を行っています。

クライアント環境

ハードウェア	OS	ブラウザ	クライアント タイプ
PC/AT互換 機	Windows 7 SP1	Internet Explorer 11	[PC]
	Windows10	Microsoft Edge 44	[PC]
		Google Chrome 75	[PC]
iPhone端末	iOS 12.3.1	Safari	[SP]
iPad端末	iOS 12.1.1	Safari	[PC・SP]
Android端末	Android 8.0	Google Chrome	[SP]

制限事項

共通

メールの差出人、宛先について

- メールの差出人と宛先のユーザ名・グループ名は、差出人の送信時のロケールでデータベースに格納しています。
そのためロケールを切り替えても変更されません。
- 差出人と宛先のロケールが異なる場合、宛先側が受信したメールの差出人と宛先のユーザ名・グループ名は、差出人の送信時のロケールで表示されます。
そのため返信時に宛先を追加した場合、宛先側のロケールでユーザ名・グループ名が設定されるので、返信メールの宛先はロケールが混在する場合があります。

メールの作成について

- メールを作成する場合、サイズの大きいファイルを添付して送信・保存を実行すると処理が遅くなり、成功メッセージとウィンドウを閉じるまでに時間がかかります。このとき処理の途中でウィンドウを閉じてても送信・保存は正常に実行されます。
- メール作成時にリンクの挿入ボタンを利用してリンクを作成する場合に、URLに空白が入ると自動的にエンコードされます。
「<http://>」や「<file://>」で始まるURLの場合は、リンクをクリックすると正しく遷移しますが、WindowsのUNC記法の場合は、パーセントエンコーディングはサポートされていないため、リンクをクリックしても正しく遷移しません。

メールの参照について

- メール本文のテキスト形式がプレーンテキストの場合、メールプレビュー、メール詳細の本文の単語の途中で改行が入ります。

認可について

- GroupMail のライセンスが与えられていなかったり、GroupMail の機能にアクセスする認可が設定されていないユーザでも宛先検索で選択し、メールが送信できます。
この場合、送信時点でエラーなどにはなりません、相手も読むことが出来る状態ではないため注意が必要です。

メッセージ通知について

- 他アプリケーションのメッセージ通知設定で「GroupMail」が「有」、「デスクトップ通知」が「無」と設定した場合、他アプリケーションからの通知が「GroupMail -メール一覧」に通知します。
ただし、GroupMail のメッセージ通知設定で「デスクトップ通知」が「有」と設定している場

PC

メールの作成について

- メール作成時にプレーンテキストからHTMLに変更を行うと、連続した半角空白は1つを残して削除されます。
- メール個人設定の「メール作成・詳細表示」の設定が「ダイアログ表示」の場合、メール作成中に別のメールを返信するなどして新たにメール作成画面を表示しようすると、既にかいているメール作成画面を使用して画面を開いてしまうため、複数のメールを同時に作成することは出来ません。
- テーブルを含むHTML形式のメールを返信や転送などをする際、個人設定でインデント文字を追加する設定にしていると、テーブル内の文字についても各行頭にインデント文字が追加されてしまいます。
- Google Chrome をご利用の場合、本文テキスト形式がHTMLの場合、本文の一番最後に入力したURLがリンクにならないことがあります。
- お使いのブラウザやPCによっては数百件以上などの大量の宛先を指定しようとするとうブラウザの応答がなくなることがあります。
これは組織、パブリックグループ、プライベートグループなどを使用して宛先をまとめて指定することで回避できます。

メールの参照について

- メール個人設定の「メール作成・詳細表示」の設定が「ダイアログ表示」の場合、メール詳細画面を表示中に別のメール詳細画面を表示しようすると、既にかいているメール詳細画面を使用して画面を開いてしまうため、複数のメール詳細画面を同時に表示することは出来ません。

ブラウザについて

- 別画面表示で既存メールの編集に、既に添付されていたファイルをダウンロードしようとしてエラーとなった場合、通常はエラー画面に遷移しますが、Google Chrome を利用している場合はエラー画面に遷移しません。
- Google Chrome では、半角の長いフォルダ名のメール一覧を表示した場合、画面表示が崩れる場合があります。
- Internet Explorer 11 では、削除された添付ファイル名をメールプレビュー、メール詳細で表示した場合、画面表示が崩れる場合があります。
- Internet Explorer 11 では、メール個人設定の返信内容、転送内容が「元メッセージを残さない」かつメール作成・詳細表示が「ダイアログ表示」の状態、「返信」または「全員に返信」または「転送」を実行した後に「流用」を実行した場合、メール本文が設定されないケースがあります。

印刷について

- 印刷ボタンはブラウザの印刷機能を使用しているため、ブラウザ画面に表示されている内容を印刷します。
メール詳細画面がダイアログ表示の場合、メールの内容のみ印刷することができないため、印刷ボタンを表示していません。

スマートフォン

メールの作成について

- ファイルの手動アップロード時、ファイル名変更のテキストボックスで「開く（実行、GO）」をタップした場合、FormのJSON文字列が表示されます。
この場合、ブラウザの「戻る」をタップすることで、メール作成画面に戻ります。

メールの参照について

- 画面表示内容が縦に長い場合、フッタが隠れる場合があります。
この場合、末尾まで下方向にスワイプすることで、フッタが表示されます。
- iOS で参照する際、メールの形式がHTMLで内容に横長のテーブルが使用されているなどした場合、表示しきれずに右側が切れてしまう場合があります。

API, リスナー等

リスナー（GroupMailSendOnlyListener 及び GroupMailSendContinueListener）

- Mail送信APIでBMP形式の画像ファイルを本文に設定すると画像が表示されない または 表示が崩れます。
- IM-共通マスタにないメールアドレスが送信者である場合、送信エラーになる場合があります。
送信エラーを回避するためには、そのメールアドレスを予めIM-共通マスタに登録しておく必要があります。

移行ツール

- 簡易宛先選択の表示件数の最大桁数はIM-社内便と iAP で異なります。
 - IM-社内便：3桁
 - iAP：2桁

そのため、IM-社内便の簡易宛先選択の表示件数が3桁の場合、移行後の iAP で個人設定画面を表示するとバリデーションエラーとなります。

- 署名の最大文字数はIM-社内便と iAP で異なります。

- IM-社内便：255文字
- iAP：250文字

そのため、IM-社内便の署名の文字数が251文字以上の場合、移行後の iAP で個人設定画面を表示するとバリデーションエラーとなります。

保証規程

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（<http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=iag>）に

掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として

イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみならず当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上